

高雄日本人学校の風

校長 高口和治

1月16日(火)

中山大学大学院生が学校見学にきました。台湾では、現職の先生が夜大学院に通って、単位を取り、その資格を基にスキルアップや昇進の道につなげていきます。大学の担当の先生は、前高雄市教育局長さんです。日本人学校のグラウンドから見えるところにお住まいです。運動会など、うるさくないかなと心配して聞いて見ると、「元気でいいですね」と笑って答えてくれる方です。

台北日本人学校附近で保護者がナイフで刺された事件についてお知らせをしました。そのときに、車の中から不審者を見たという情報が寄せられました。彩虹公園でコートをもった男の人がコートを広げると全裸で、その裸を女性に見せていたというものです。

その報告を受けたので、すぐに派出所に連絡をしました。警官が2人、様子を聞きにきました。パトロールを強化してくれるとのこと。また、数年前にひったくりがあったはずですが、と聞いたら「今は監視カメラもあって、まったくありません。」という返答でした。

1月16日(水)

マラソン月間で、みんな頑張っています。朝、玄関前で立っていると、バスが着いた頃には、ボランティアの生徒の葉っぱはきが終わりにさしかかっています。その後、グラウンドに集まり走り始めました。自分の目標に向かって走っている姿がかっこいいですね。

1月17日(木)

朝の校長、教頭、教務、林さんとの打ち合わせで、火曜日に警官が来た続報がありました。長明派出所は上司に報告をして、パトロールの強化をする。また、三民区の警察署の日本人学校の担当者からも電話があってパトロールを強化をするという報告がありました。当たり前ですが、パトロールには限界があります。また、台湾という比較的安全な国ということで気が緩みがちであることも確かです。どこにも、犯罪を犯す人は存在しています。比較して安全というだけです。

職員室を出たら、2年生と遭遇。頭にはお面？をかぶり、なにやら手にはいっぱいのものをもち、南校舎4階に向かっています。来週の練習が本格的になってきたんだなど。ちよっとのぞきにきました。

台詞は覚えていて動きをしてから、みんなで話し合いをして、よりよくしようと、どこをどう工夫しようかと話し合っていました。みんな、真剣そのものです。すごい。

佐伯先生にきた年賀状を見せてもらいました。

その後、いかがお過ごしですか？タイは相変わらず、ずーっと暑いですが、何とか元気にやっています。着任して1年たったので、また、少し違う面白い記事にも挑戦しようと思っています、

また、是非、お越しく下さい。お待ちしております。

共同通信 本間麻衣

(私宛の封筒になぜか佐伯先生にだけメッセージ???? 2年も担任をしていたのに・・・)

紀伊國屋に行ったら、吉田修一さんの『路ルウ』が平積みになっていました。新潟の仲間からの情報で、その本が出版されたのは知っていました。内容はというと、まだ、読んではいませんが、台湾新幹線をめぐる日台の人々のあたたかな絆を描いた渾身の感動長編と帯に書いてあります。

物語は、2000年の新幹線受注がヨーロッパ系の企業にとられてしまったところから始まります。最後の章は春節というものです。台湾新幹線の開通の内容です。最後の章を少し読んでみると、こんなことが書いてありました。

『台湾新幹線開通の報道は、春香（名前です）たちが期待していたほど日本ではされなかつたらしい。もちろん新聞では記事になったが、日本が誇る新幹線システム初の海外輸出となったにもかかわらず、特別番組が編成されることもなく、どちらかといえばネガティブな情報が多かったという。「台湾で新幹線が走るようになったが、あくまでも日欧の混同技術であり、純粋な日本製新幹線と呼べない。」というのが、主な論調らしかった。七年も台湾で暮らしていれば、台湾という国が日本でどのような扱いを受けているのか、知らず知らずに敏感になる。台湾の人が日本を思う気持ちに比べると、日本人が台湾のこと（台湾と中国のこと）を知ろうとする気持ちは、あまりにもお粗末としかいいようがない。だからこそ、春香はいつか、台湾の人が日本を思う気持ちを当の日本人が気づく日が来ることを願っている。』

私（高口）は、今はここ台湾に住んでいますから、台湾に大変興味があります。自分が日本にいた時のことを思い出すと、台湾にほとんど無関心でした。今も興味があるタイやラオスなど東南アジアにしか興味がなかったのが、うそのようです。今では、かなり台湾を知りかけています。（きっと、本当に知りかけているだけでしょう。）新潟の仲間に台湾を知らせることに心がけています。それに呼応してずいぶん多くの方が来てくれています。私が連れて歩くと、観光地に行かないので、不満がる人もいますが、ま、いいかと思っただけです。